

平成22年度実施 地域ICT利活用広域連携事業 成果報告書

実施団体名 株式会社サガン・ドリームス

代表団体名 株式会社サガン・ドリームス

事業名称 サガン・ドリームスICT利活用広域連携事業
プロスポーツチームへのロイヤリティを資源とした安心・安全活動の推進事業

1 事業実施概要

佐賀県の地域ブランドであるサガントスが鳥栖市・唐津市と連携し「地域コミュニティの衰退に伴う地域の防犯力の低下」「交通事故件数の増加と緊急車両運行の妨げ」という地域課題を解決する。

①サガングリーンマネーシステムの構築②防犯・防災専用のポータルサイトとメルマガの構築③交通系ICカードを活用した乗車履歴活用システムの構築④防犯防災専用のポータルサイトとメルマガの構築

2 目標の進捗状況

(1) 目標の進捗率

指標	目標値	結果の数値	達成状況	計測方法・出展等
防犯防災ポータルサイトPV数(年間)	18,000回/年(1,500回/月)	6,546PV 月436% 年36%	○	・ポータルサイトへのアクセスログより集計 集計期間4月11日~4月28日まで
防犯防災コミュニティ活動参加数(年間)	300人/年(25人/月)	32人 月128% 年10%	○	・参加によるポイント発行人数の集計 集計期間4月11日~4月28日まで
サガントス試合時の会員電車利用数	1試合/100人	0	×	東北地方太平洋沖地震により、3月12日及び3月19日のホームゲームが中止となり、測定できず。

(2) 進捗率の理由(達成状況が△又は×の場合はその理由)

「サガントス試合時の会員電車利用数」について

東北地方太平洋沖地震により、3月12日及び3月19日のホームゲームが中止となり、測定できなかったためです。ホームゲーム戦は、4月30日からとなり、それからの計測となります。

現在、スタジアム内での公開練習を行う際に、サポーター呼びかけを行っており、反応もいいため、Jリーグ再開後は、目標達成できると確信しております。

3 事業による成果

(1) 事業による成果（アウトプット指標）

項目	成果指数	備考(成果指数の説明等)	調査時期
防犯防災ポータルサイトへのアクセス数	6,546PV	ポータルサイトへのアクセス数	4月11日~4月28日まで
防犯防災コミュニティ活動参加数	32人	コミュニティ活動の参加人数	4月11日~4月28日まで
電車利用数	0	東北地方太平洋沖地震により、3月12日及び3月19日のホームゲームが中止となり、測定できず。	4月11日~4月28日まで
参加数（地域団体）	2団体	東北地方太平洋沖地震に対する無償で行う寄付活動が主だったため、参加募集を自粛しておりました。	4月11日~4月28日まで
利用者登録数（仮想ポイントマネー）	86人	利用登録者数	4月11日~4月28日まで
情報配信数（メールマガジン）	0	東北地方太平洋沖地震により、メールが集中して一部つながりにくい状態であったことと緊急性のある連絡がなかったため、配信を自粛しておりました。	4月11日~4月28日まで
利用件数（アクセス数）	6,546PV	ポータルサイトへのアクセス数	4月11日~4月28日まで
配布数（タッチ端末）	51	3/11 関係部署、ドリームショップ店舗に設置予定も、Jリーグの中止連絡を受け、設置を延期。現在配布を再開しており、3月中には完了予定です。	4月11日~4月28日まで

利用者登録数（公共交通系 IC カード履歴読取りシステム）	0	東北地方太平洋沖地震により、3月12日及び3月19日のホームゲームが中止となり、測定できず。	4月11日～4月28日まで
利用件数（迷惑電話など問い合わせ件数）	0	東北地方太平洋沖地震により、3月12日及び3月19日のホームゲームが中止となり、測定できず。	4月11日～4月28日まで
ICT人材育成人数	2名	ポータルサイトの運営、仮想マネージシステムの管理・運営に対する知識と経験を持ち合わせた人員数	4月11日～4月28日まで
プログラム数	2回	CT人材を育成する為に行われたプログラム数	4月11日～4月28日まで

(2) 事業による社会的効果等（アウトカム指標）

項目	事業成果	調査内容	算出方法	調査時期
防犯情報等の住民視聴率・聴取率	防犯防災活動の情報を提供することにより、住民の防犯防災活動の意識を向上させ、防犯防災活動へ参加する意識を向上させる。	メールマガジンの配信数を計測	メールマガジン登録者数＝受信者数	4月11日～4月28日まで
伝達所要時間	防犯防災活動団体等が当事業の情報発信媒体を新たな情報発信チャネルとして使用することで、住民が当該団体等が活動関係情報に増える機会が触れるまでの時間短縮に寄与できる。	メールマガジンの配信数	メールマガジン登録者数＝受信者数	4月11日～4月28日まで
情報収集時間	防犯防災活動団体等が、当事業の情報発信媒体を使用することで、当該団体等の活動関係情報を収集す	メールマガジンの配信数	メールマガジン登録者数＝受信者数	4月11日～4月28日まで

	る時間の短縮に寄与できる。			
罹災数(被害件数)	ホームゲーム時における迷惑駐車やマナー違反に対する地域住民からの苦情電話件数の減少につながる。	事業導入前の電話件数との差を計測	現状の平均苦情報告数-公共交通機関利用システム導入後の苦情件数=削減された迷惑件数	4月11日~4月28日まで
主観的安心度向上率(実感)【単独指標】	住民による街中回遊性が高まることで中心市街地の通行量を増加させ市民の目による能動的な防犯防災活動の推進が図られる。 また、ポイントを集めるためにサガントスサポーターによる地域防犯防災活動への参加数が増加し、地域の安心安全に寄与される。	参加に伴うポイント付与数を計測	タッチ端末のログ数×利用日数=見回り住民数	4月11日~4月28日まで
伝達所要時間	防犯防災活動団体等が当事業の情報発信媒体を新たな情報発信チャネルとして使用することで、住民が当該団体等が活動関係情報に増える機会が触れるまでの時間短縮に寄与できる。	メールマガジンの配信数	メールマガジン登録者数=受信者数	4月11日~4月28日まで
情報収集時間	防犯防災活動団体等が、当事業の情報発信媒体を使用することで、当該団体等の活動関係情報を収集する時間の短縮に寄与できる。	メールマガジンの配信数	メールマガジン登録者数=受信者数	4月11日~4月28日まで
罹災数(被害件数)	ホームゲーム時における迷惑駐車やマナー違反に	事業導入前の電話件数との	現状の平均苦情報告数-公共交通	4月11日~4月28日まで

	対する地域住民からの苦情電話件数の減少につながる。	差を計測	機関利用システム導入後の苦情件数＝削減された迷惑件数	
主観的安全度向上率(実感)【単独指標】	住民による街中回遊性が高まることで中心市街地の通行量を増加させ市民の目による能動的な防犯防災活動の推進が図られる。また、ポイントを集めるためにサガントスサポーターによる地域防犯防災活動への参加数が増加し、地域の安心安全に寄与される。	参加に伴うポイント付与数を計測	タッチ端末のログ数×利用日数＝見回り住民数	4月11日～4月28日まで
見回り活動住民数【単独指標】	住民による街中回遊性が高まることで中心市街地の通行量を増加させ市民の目による能動的防犯活動の推進が図られる。	参加に伴うポイント付与数を計測	タッチ端末のログ数×利用日数＝見回り住民数	4月11日～4月28日まで
仮想ポイントマネー利用者数【単独指標】	ポイントを集めるためにサガントスサポーターによる地域防犯防災活動への参加数が増加し、地域の安心安全に寄与される。	参加に伴うポイント利用者数を計測	利用登録者数＝仮想ポイントマネー利用者数	4月11日～4月28日まで
防犯防災コミュニティ活動参加者数	ポイントを集めるためにサガントスサポーターによる地域防犯防災活動への参加数が増加し、地域の安心安全に寄与される。	参加に伴うポイント付与数を計測	タッチ端末のログ数×利用日数＝見回り住民数	4月11日～4月28日まで
地域活動団体の参加数	人員不足による活動力低下を懸念されている地域活動団体に対し、ポイント獲得によるサポーター誘導により活動力の向上につながる。	参加する地域団体数を計測	地域活動団体の登録数＝団体の参加数	4月11日～4月28日まで
防災防犯情報受信者数	防犯防災活動の情報を提供することにより、住民の	メールマガジンの配信数を	メールマガジン登録者数＝受信	4月11日～4月28日まで

	防犯防災活動の意識を向上させ、防犯防災活動へ参加する意識を向上させる。	計測	者数	
公共交通機関利用システム活用以外の来場者数	ホームゲームの際電車利用で来場したサポータに対しポイントを付与することで、電車利用を呼び掛け環境に対する意識を向上させる。	スタジアム来場者数に対する公共交通機関利用システム活用者数の差を計測	スタジアム観客動員数-公共交通機関利用システム活用者=システム活用以外の来場者数	4月11日~4月28日まで
騒音やマナー違反等による地域住民の迷惑件数	ホームゲーム時における迷惑駐車やマナー違反に対する地域住民からの苦情電話件数の減少につながる。	事業導入前の電話件数との差を計測	現状の平均苦情報告数-公共交通機関利用システム導入後の苦情件数=削減された迷惑件数	4月11日~4月28日まで
迷惑事例発生件数(警察署または消防署の把握件数)	ホームゲーム時における、緊急車両の通行妨げに繋がる迷惑駐車等の発生が抑制される。	当局(警察署または消防署)への件数ヒアリング	1-(事業開始後の違法駐車等の迷惑駐車件数/事業開始前の違法駐車等の迷惑駐車件数)=違法駐車等の迷惑駐車件数の減少率	4月11日~4月28日まで
公共交通機関利用者数	ホームゲームの際電車利用で来場したサポータに対しポイントを付与することで、電車利用を呼び掛け環境に対する意識を向上させる。	公共交通機関利用システム活用者数を計測	電車利用数=1試合の乗車履歴読取端末機タッチ数×ホームゲーム数	4月11日~4月28日まで
ICT人材の増加【単独指標】(育成:約2名)	ポータルサイトや改札の降車履歴を活用した仕組みを熟知することでICT事業に対する知識と経験を蓄積させることで更なる人材の育成、増加につながる。	ICT知識を習熟した人材による新たな人員の育成数を計測	育成したICT人材が新たに育成したICT人材数	4月11日~4月28日まで

4 システム設計書

別添2のとおり。

<システム運用結果>

1 システム運用で得られた成果

説明を行っている店舗等の反応はよく地域との連携手段として、効果的と考える。
タッチするだけでポイント付与できることから、利用者にも好評である。

2 平成22年度事業実施において明らかとなった課題

F e l i C a を利用したシステムになっているため、おサイフケータイ機能を搭載していないスマートフォン機種等は、今回の事業で対象外となる。

現行のシステムでは、おサイフケータイ機能搭載端末機が2010年末より発売が開始されており、おサイフケータイ機能搭載端末機の開発が進んでいる。

3 自律的・継続的運営の見込み

<資金面>

【支出合計】562,590円/年間

本事業は多種多様なハード設備をしないため、毎月発生する支出はキオスク端末のリース代・保険代等とサーバ代、ドメイン代、SSL代となる。

・レンタルサーバ費	315,000円
・ドメイン利用料	6,300円
・SSL	85,050円
・キオスク端末機 リース代	49,140円
・キオスク端末機 保険代	37,800円
・キオスク端末機 通信費	69,300円

【収入（予定）】

・TOPページ広告	10,500円/月
・下層ページ広告	5,250円/月
・ドリームショップ加盟	10,000円/年

まずポータルサイトの広告料金の根拠だが、こちらは鳥栖市役所HPのバナー広告の料金と同一にし、1年間でTOPページ広告を2社、下層ページ2社獲得を目標とする。鳥栖市のバナー広告料金は、第一階層（TOPページ）が10,000円/月、第二階層が（次ページ以降）が5,000円/月となっており、現在2社出稿している。本事業は2市が連携して行うもので、鳥栖市以外の住民もアクセスすることが予想されることから、広告出稿価値は高いと思われる為、獲得件数は問題ないと思われる。

広告収益以外の収入の柱として、来店ポイント付与店舗への参加費（ドリームショップへの参加）がある。バナー広告分を除くと、損益分岐までは184,590円が必要である。この金額を年間加盟料10,000円で割ると19店の加盟が必要となる。

現在ドリームショップ加盟店は、19店以上加盟しており、損益分岐件数は既に確保できている。

本事業は防犯防災を目的とし、集客ツールと考えると、年額 10,000 円のコストは定額で類を見ないものである為、獲得目標はクリアできるものと考えている。

これにより、維持管理費用面から本事業は継続性を有すると考える。

<実施体制面>

本事業は、当面既存職員 2 名で運営していく。

本協議会も、23 年度以降も定期的な開催を行うことで決定しており、普及定着のため、情報の共有等を行っていく。

また、管理機能を全員が、簡単に利用できるよう、コンテンツマネジメントシステム（CMS）を起用している。これにより複数のシステムを簡単に運用・更新出来き、有事の場合でも、簡単な更新業務であれば本事業に関わりのないものでも、担当者からの指示により簡単に入力できる。

また、事業を安定して運用すべく、2 人は知識の共有を図る勉強会を実施しており、お互いの業務をフォローし合える環境を構築している。

当然のことながら、事業のバックアップ体制として外部の ICT 有識者との連絡体制を整備し、事業を安定して運用していく。

以上、資金計画面および実施体制の両面の両面からも本事業は継続的に行われると考える

4 今後の展開方針

東北地方太平洋沖地震により、3 月 12 日から 4 月 16 日まで、J リーグ開催が中止となり、4 月 30 日のホーム戦より、全サービスを本格稼働いたします。

その際、来場されるサポーターへ再度、事業の内容と電車利用・防犯防災に対する等と呼び掛けていきます。

5 その他

来店ポイント管理システム(新規)

防犯防災活動の参加や地域商店街の活性化に貢献した方にポイントを付与。地域コミュニティ活性化による防犯防災を推進。カードR/WにFeliCa携帯電話をかざしポイントを付与する仕組み。



タッチリーシステム(新規)

市内特定箇所にカードR/Wを設置し、FeliCa携帯電話をかざすことで、特別ページにスタンプが貯まっていき、インセンティブと交換。同様に地域住民の回遊による防犯を推進。

管理者: CMSを利用したコンテンツ管理

公共交通利用促進プログラム(新規)

キオスク端末システム(新規)
交通系ICカード内の乗車履歴を活用しスタジアム内のキオスク端末にかざすことで、ポイントを付与。電車利用を促進することで渋滞解消・違法駐車削減による地域の安全に繋げる。



利用者: PC、携帯電話で地域情報の取得、現在のポイント数把握および交換申込

- ・サガンボランティアサイト



サガン・ドリームスICT利活用広域連携事業

文字サイズ: [小さく](#) [標準](#) [大きく](#)

[ホーム](#) [サガンボランティアとは](#) [サガンよかばいポイントとは](#) [地域活動団体紹介](#) [ボランティア活動を探す](#) [よくあるご質問](#)

みんなの明日を、みんなで創る!

サガンボランティアで創る、みんなの街の安全・安心



サガンボランティアとは?



サガンよかばいポイントとは?



地域活動団体の紹介

マイページ

プロフィールや参加する活動のご確認はこちら!

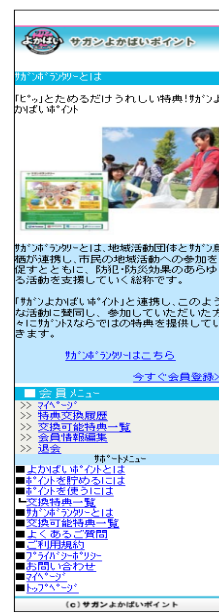
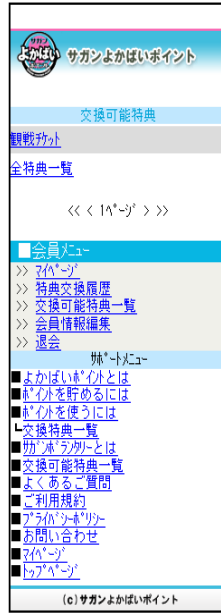
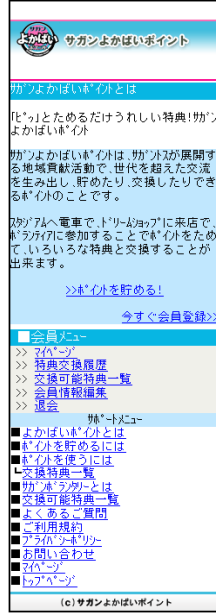
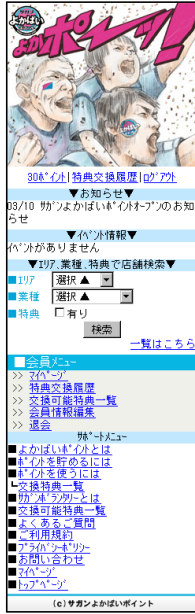
ボランティア活動を探す

募集中のボランティア活動はこちら! →

会員登録について

地域を守るボランティア。会員登録はまもなく! 🍀

・サガンよかばいポイントサイト



・キヨスク端末機



・販促物（ポスター、チラシ、リーフレット）



<人材育成状況説明書>

①申請主体におけるICT人材の育成・活用内容

1 ICT人材の育成人数

株式会社サガン・ドリームス 社員2名

2 ICT人材の育成方法

今回ソフト・ハードを導入した株式会社シー・アール総研より招へいし、機器の操作手法やコンテンツ作成など運営基礎スキルからICTに関する知識全般に渡り講習会を通じ知識として教育している。

事業開始当初である現在は、OJTによる運用操作トレーニングを行い、常時打ち合わせを行うことにより知識を補完している。不明な箇所は直接連絡を取り、更なる知識の充実を図っている。また機器やソフトの複雑なトラブルが発生した場合は、迅速に連絡し、対応を図ることができる環境を構築している。

3 1で育成等したICT人材の活用人数

株式会社サガン・ドリームス 社員2名

4 ICT人材の活用方法

①CMSによる情報発信コンテンツ作成・反映

- ・設置店舗の登録
- ・ボランティア団体の登録
- ・景品の登録
- ・新着情報の作成・反映

②設置店舗への利用方法説明

- ・来店ポイントの利用方法について説明

5 次年度以降のICT人材の育成・活用内容（予定）

震災により、3月中のJリーグ開催中止であったが、4月30日からホームゲーム開催が決定し、公共交通利用促進プログラムを含め事業全体が本格稼働する。

ホームゲーム戦では、ブース等を設け「サガンよかばいポイント」、「サガンボランティア」の趣旨や登録方法の説明と電車での来場をサポーターへ呼びかけていく。

②事業運営主体におけるICT人材の育成・活用内容

1 ICT人材の育成人数

申請主体と事業運営主体が同じであるため、申請主体におけるICT人材の育成・活用内容と通り

2 ICT人材の育成方法

申請主体と事業運営主体が同じであるため、申請主体におけるICT人材の育成・活用内容と通り

3 1で育成等したICT人材の活用人数

申請主体と事業運営主体が同じであるため、申請主体におけるICT人材の育成・活用内容と通り

4 ICT人材の活用方法

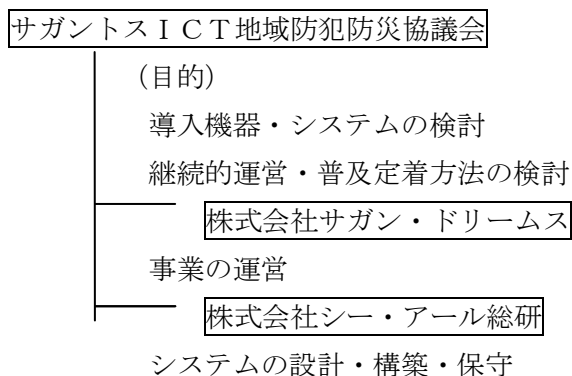
申請主体と事業運営主体が同じであるため、申請主体におけるICT人材の育成・活用内容と通り

5 次年度以降のICT人材の育成・活用内容（予定）

申請主体と事業運営主体が同じであるため、申請主体におけるICT人材の育成・活用内容と通り

<実施体制説明書>

1 実施体制



2 各主体の役割

No	名 称	役 割
1	サガントス I C T 地域防犯防災協議会	平成 22 年度「地域 I C T 利活用広域連携事業」において採択を受けた「サガン・ドリームス I C T 利活用広域連携事業」を円滑に導入し、継続的な運営、普及定着を図ることにより、地域コミュニティの衰退に伴う地域の防犯力の低下、交通事故件数の増加と緊急車両運行の妨げ等を防止し、安全安心なまちづくりを推進する。
2	株式会社サガン・ドリームス	事業の運営
3	株式会社シー・アール総研	システム設計・構築・保守

事業実施進行表

実施内容	8月	9月	10月	11月	12月	H23 1月	2月	3月
	協議会等設立・準備会合		△	△				
協議会等開催				△		△		△
システム構成の検討・決定			→					
システム構築に係る競争入札					→			
システム設計						→		
システム稼働								→
報告書作成								→

その他

本事業により構築したウェブサイト又は本事業を掲載したウェブサイト

[1] <http://www.sagan-voluntary.com>

[2] <http://www.sagan-yokapo.com>